

【指導者】環境アドバイザー 木橋悦二

講 座 名 称
「宇宙、地球・・・そして私」
対象年齢
小(高学年)中学生、高校生、一般
対応可能人数
~100人
必要時間
50~100分
講 座 概 要
<p>人に地球の自然を消滅させる権限はありません。地球と人の生活を保障するためには考え方(環境思想)を変えるしかありません。</p> <ul style="list-style-type: none">・生活の舞台としての地球環境の概要、生物と多様性・人類にとっての環境の変化・エコロジカルな考え方・環境思想を学び、SDGsを考える
講 座 内 容
<p>1 生活の舞台としての地球環境</p> <ul style="list-style-type: none">・環境という言葉の意味について考えます。・地球(水の惑星)についての概要を知ります。・生命の多様性について学びます。・人類の歴史を振り返ります。
<p>2 人類にとっての環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none">・人類と人口増加・危機的状況にある地球環境・生命の尊厳と生物多様性
<p>3 現代文明と地球環境</p>
<p>4 エコロジカルな考え方</p> <ul style="list-style-type: none">・環境の危機を乗り越えるために・エコロジーについて・無知が環境の破壊につながった・生態学には智恵がある
<p>5 トータルシステムとしての地球</p>
<p>6 環境思想、環境倫理</p> <ul style="list-style-type: none">・環境思想と環境倫理
<p>7 自然の価値と人間</p> <ul style="list-style-type: none">・なぜ人間は自然・環境を守り、環境倫理を守るのか・環境思想の分化・自然の生存権
その他
<ul style="list-style-type: none">・持続的な地球環境の保全と人類の福祉の向上は両立するのだろうか。SDGsに沿いながら一人一人ができる"今すること"はとても大切ですが、人の考え方(環境思想)が変わらない限り、中途半端な環境保全に終わってしまう。・人間は地球を知りえるのか。そして地球を保護できるのか。カタストロフィックシフトに移行しないために、最善を尽くすことが求められている。